

科学と宗教を繋ぐ美術－ 星曼荼羅と星辰絵画の研究

松浦 清 (まつうら きよし)
工学部 総合人間学系教室 教授

用途・応用分野：密教美術、星曼荼羅、星辰絵画、天文文化、
星景写真の撮影と比較



■ 研究概要

星曼荼羅の二形式すなわち円形式および方形式（図1）の構成要素とその配置に基づく構成原理ならびに成立と展開の解明を研究の中心としつつ、須弥山図（図2）などの絵画作品において、天文学に基づく科学知識と天空への思想がどのように関連して作品として成立しているのかを研究している。

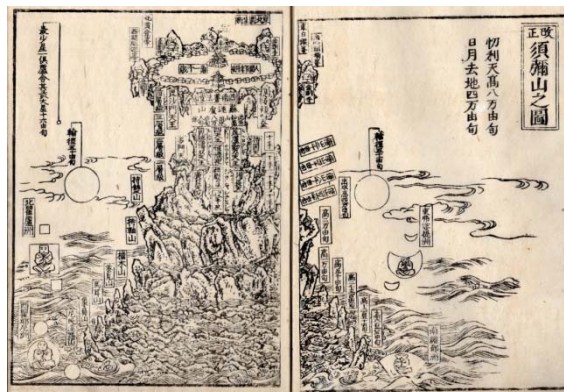


図2：須弥山図（個人蔵）



図1：星曼荼羅（個人蔵）

■ 研究の特徴

経典を中心とする文献研究と天文学を中心とする科学研究の文理融合的な学際研究
（以下の3つが研究の柱）

- ① 星曼荼羅における惑星配置の意味
- ② 九曜を描く密教絵画の制作背景
- ③ 月を描く絵画の時間表現

